

これまでの「**当たり前**」を検証！

ES/1とコンサルティングで「**可視化、客観的分析**」をいたします！

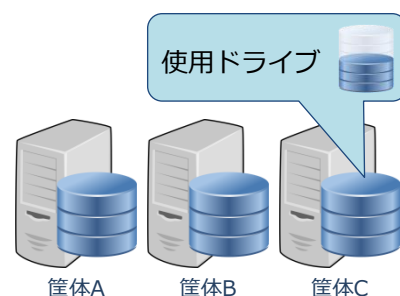
ディスクの有効利用

あるお客様の場合

- ディスクに関して、全容量の半分のみ使用してレスポンスを保持するという運用を長年実施

例) 16論理ドライブ (筐体全体) のうち8論理ドライブを割当て

- メーカーからの提案を踏襲し、それが定常化



ES/1で分析した結果

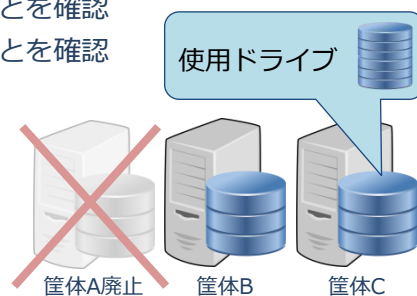
- **全容量を有効利用し、1筐体を廃止、統合できることが判明**

分析1: ディスク負荷増加によるレスポンスへの影響がないことを確認

分析2: チャネル負荷増加によるレスポンスへの影響がないことを確認

ディスク、チャネルの適正化により

年間1億円のコスト削減を実現！



ディスクの有効利用以外にも
「**可視化、客観的分析**」の
ご要望があればお声がけください！



ES/1 NEO MFシリーズの主な機能

特長

- 問題点を自動分析
- 分析結果を日本語で表示
- チューニング方法を提示

✓ マルチベンダ

IBM、富士通、日立、NECに対応



✓ データ管理

一元管理/データ圧縮・蓄積/
サマリー化



✓ 稼働統計・課金

グラフ・報告書の自動作成/
傾向解析/課金データ作成



✓ WEB閲覧

グラフや評価結果をWEBで閲覧



✓ テープ装置

装置割当て状況/マウント状況



✓ DISK装置

RAID効率分析/
性能劣化ボリュームの検出、予測



✓ バッチジョブ

遅延ジョブ検出/実行効率分析



✓ オンライン・DB

IMS・CICS、DB2、AIM、XDM、
VISのサービス管理



✓ CPU・メモリ

PR/SM効率/負荷分析/傾向解析



✓ セキュリティ

RACF/TRUST



	対象OS	対象データ
IBM	OS/390、z/OS	RMF、SMF
富士通	MSP、MSP-EX、XSP	PDL、SMF
日立	VOS3/FS、VOS3/LS、VOS3/US	SAR、SAR/D、SMS
NEC	ACOS-4/XVP、XVP PX、NPX、i-PX、VX	SMF



株式会社 アイ・アイ・エム

URL: <http://www.iim.co.jp/> E-MAIL: inquiry@iim.co.jp

(東京本社) 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-20 本郷センタービル TEL: 03-5684-6771 FAX: 03-5684-6845
 (大阪支店) 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館ビル TEL: 06-6359-5750 FAX: 06-6359-5751
 (中部営業所) 〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-17 名古屋情報センタービル TEL: 052-220-2977 FAX: 052-220-2978